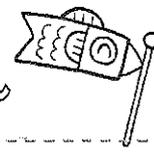


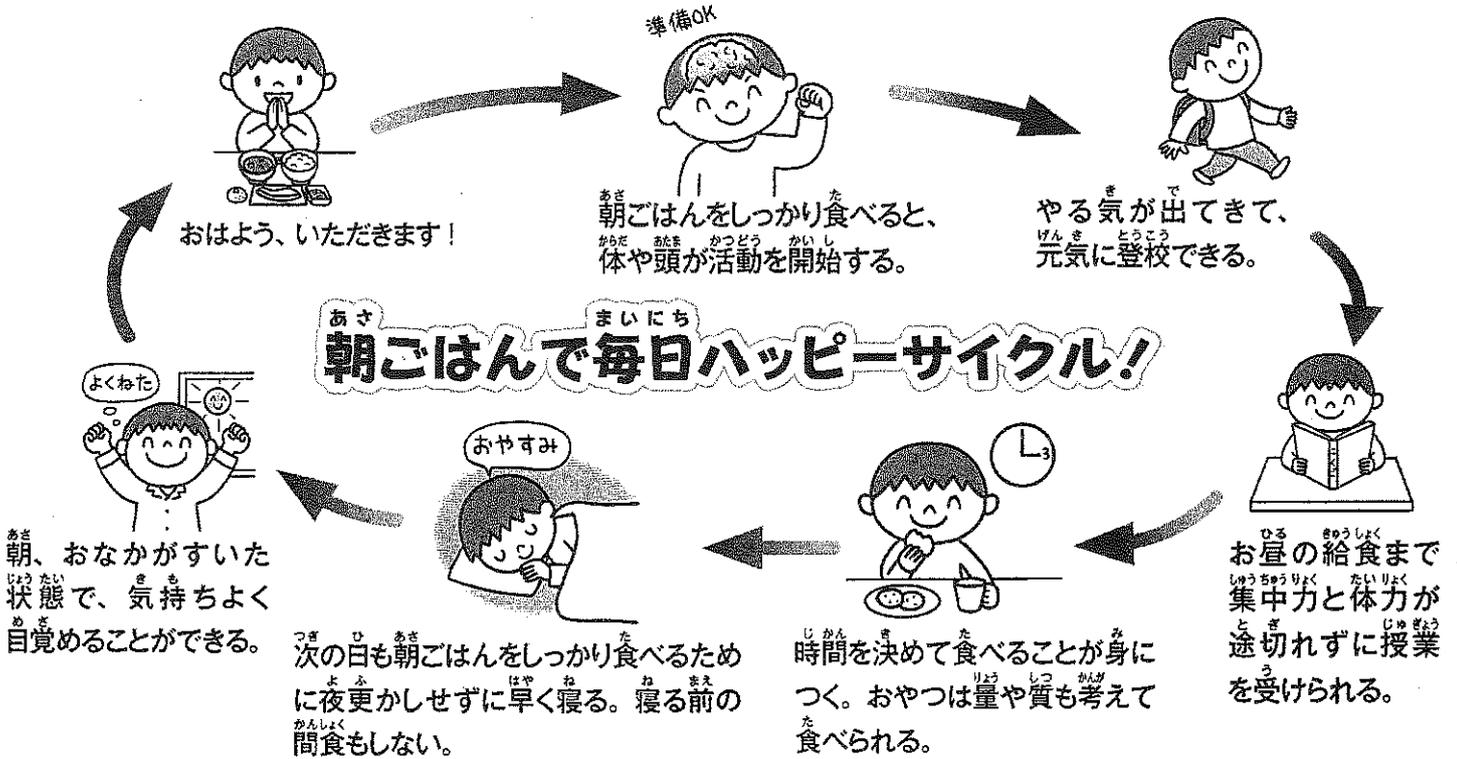
きゅうしよくだより~5月号~



平成 29 年 5 月 19 日

あさぎり町学校給食センター

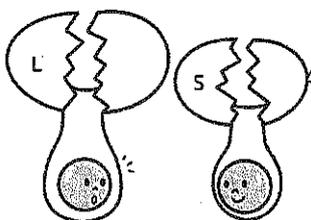
5月がは新しい環境にあにも慣れ、緊張がとれてほっとすると同時に、春はから初夏はへの季節のの変わり目がが重かなって、疲れがが出でやすいときです。栄養とと休養ををしっかりと、体調をを崩くさないようにしましょう。



卵のサイズのちがいは?

卵のサイズは、重さによりLL、L、M、MS、S、SSの6種類に分類されています。お店では、MやLサイズをよく見かけますが、Mは58g以上64g未満、Lは64g以上70g未満と定められています。

見た目にも、大きさのちがいは明らかですが、じつは、このちがいのほとんどは、白身の量だといいます。黄身の大きさはそれほど変わらず、大きい卵ほど白身の量が多いそうです。

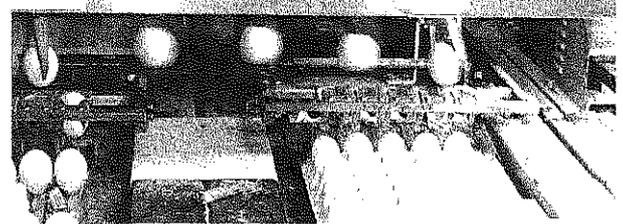


白身を泡立ててメレンゲをつくるなど多く使いたいときは、サイズの大きい卵を使用するなど、使い分けることができそうだね。

生き物の世話なので、365日気を抜けません。暑さに弱いので、エサや水やりの他にも、温度管理が重要です。鶏も人間の子どものように、病気にならないようにワクチン接種の注射をして大切に育てています。



高田養鶏場の 高田さん (1万5千羽の鶏を飼育)



卵を大きさで分ける機械